



大学教育再生加速プログラム

比治山の学びが、
さらに進化！

平成26年度 大学教育再生加速プログラム

授業が変わる！

比治山型 アクティブ・ラーニング &

チカラが見える！

学修成果の可視化



学ぶ楽しさ、成長する喜びを実感！

社会に出てからも「伸び続ける人」を育てます。

学生一人ひとりが主体的に学ぶ。

比治山型 アクティブ・ラーニング

学生自らの主体的な学びをとおして、
4つの能力(自立・想像・共生・創造)を育成。

「知りたい」「学びたい」と思えるテーマを学生自身が設定し、調査・研究を行います。その成果をプレゼンテーションし、クラスの仲間とディスカッションを重ねることで、新しい課題を見つけていく。そんな学びをとおして、学修力や人間力を養います。

自立・想像・共生・創造の育成

学生が自ら課題を設定し、調査・研究する
コア・アクティブ・ラーニング科目で、学修力・人間力を磨く

卒業論文・卒業制作に昇華

自立・想像・共生・創造から広がる
12のスキルを身につけ、社会へ

自分の成長を目で見て、実感できる。

学修成果の可視化

学修成果を目に見える形にすることで、
学ぶ喜び・自分自身の強みを実感。

本学の学生情報システム Hi!way を活用した学修ポートフォリオ (学びの成果をデータ化したもの)によって、学修成果を目に見える形にすることで、自分の成長を実感。学ぶ喜びや楽しさを感じることができます。

学生情報システム
Hi!way

学生 授業での成果や課題等の自己評価を入力
教員 成績や学生へのコメントなどを入力

学修成果を目に
見えるようにデータ化

・学期ごとの学修ポートフォリオを作成

学生 ・自分の学修成果を把握・次の学修計画につなげる
・学修成果のリファイン
教員 ・学生の学修成果を把握・データに基づく授業改善

+

向上させる力

比治山型
アクティブ・
ラーニング

自ら掲げた課題を解決することで、学ぶ楽しさを実感！

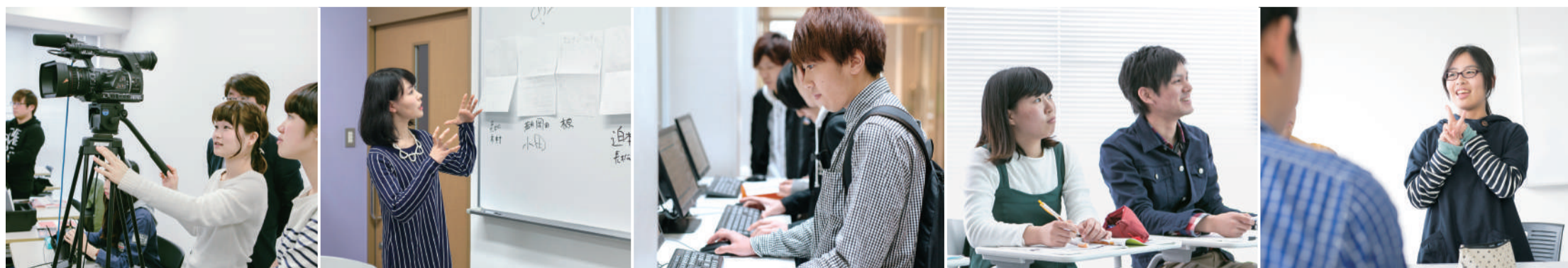
相乗効果

推進させる力

学修成果の
可視化

成長を実感できるから、学ぶことがもっと楽しくなる！

「比治山型 アクティブ・ラーニング」と「学修成果の可視化」の相乗効果によって、
社会に出てからも、成長し続ける人材を育成！



■ 平成26年度 大学教育再生加速プログラムとは？

大学教育再生加速プログラムとは、国として進めるべき大学教育改革を一層推進するため、教育再生実行会議等で示された新たな方向性に合致した、先進的な取組を実施する大学を支援することを目的として、文部科学省が平成26年度から実施する事業です。採択率約20%(250件中46件)の難関をクリアした本学の申請内容は、「比治山型アクティブ・ラーニング」の構築と実践、評価指標モデルの構築と学修成果の可視化(申請区分テーマI・II複合型)です。